

人間科学科リフレクション入試（面接重視型）課題

課題記号 A

人と暮らしを支えるソーシャルワークの実践活動に関する文献をいくつか提示します。文献は面談時にお渡しします。その中から自分の興味関心がある文献を1つ選択し、レポートを作成してもらいます。

レポートには①なぜこの文献を選択したのか、②選択した文献からあなたが得た気づきや新たな知見はどのようなことか、③選択した文献に取り上げられたソーシャルワーク実践活動について書籍、ネット記事等で調べ学習を行った内容、④この文献を読んで、調べ学習を行ったうえでの自分なりの意見や考察を、根拠を明らかにしながら述べてください。①から③については面接で発表してもらい、④については質疑を行います。そのため試験時には自分の課題のコピーを持参してください。

なお、レポートの字数は2000字程度とします。用紙はホームページに掲載の「総合選抜型 課題分提出用紙(様式10号)」を使用してください。ただしパソコン等で課題を作成する場合には任意の様式でもかまいません。

課題記号 B

現代や過去の生活文化・社会について、あなたが大学で勉強してみたいテーマを取り上げ、具体的な資料をもとに考察したレポートを作成してもらいます。

資料には、本・新聞などの文献、遺物・遺跡、仏像や絵画などの美術品、道具類、芸能、昔話、建築物、官公庁や民間の統計、録音・録画資料、写真など、人間がかかわったさまざまなものがあります。それらの多くは図書館・博物館・美術館・各種センターなどに実物や記録が保管され、見学・閲覧が可能です。インターネットで情報を得られるものもあります。また、街並み・史跡・建築物・神社・寺院のように実物が現地に残され、見学できるものもあります。

面談までに、自分が考えたテーマについて、まず身近な文献やインターネットなどでおおよその情報を集めたうえで、必ず1ヶ所以上の地域や施設を訪れ、より詳細に資料の閲覧・見学や学習をしてください。施設では学芸員や専門職員などへの質問・相談も試みてください。

面談時には、どのような内容のレポートを書きたいか、どのように見学や学習してきたかなどを簡単にまとめた文章を提出してください。字数や形式は自由です。見学先すべてについて、名称・場所・見学日時をわかりやすく示してください。パンフレットや写真などを参考資料として付け加えてもかまいません。口頭でも説明できるようにしてきてください。

(注:新型コロナの影響で来館者数を制限したり臨時に閉館したりする施設もあるので、現地訪問の計画を立てるときは事前によく情報を収集し、見学や学習がスムーズに進むようにしてください。)

課題記号 C

①記憶に関して書かれた心理学の文献を読み、文献の指定の箇所について、2000字程度で要約してください(文献および指定箇所については、面談時に指示します)。

②この文献の中で紹介されている、記憶に関する実験を実際に行ってください。その結果を分析し、試験の際には発表を行ってもらいます(実験の内容や注意点については、面談時に説明します)。

以上